

コラム

相手の事を考える

おはようございます。

本日から1年の大会のスケジュールがスタートします。

それに際しまして、改めて『強い』とはどういうことかという事を伝えておきたいと思っています。

皆さん、強くなりたくて武道と関わっていると思います。なので『強い』ということがどういうことなのかという事を正しく理解しておく必要があります。

『強い』ということについて、色々な考え方があると思います。その中で何が正しいという気はありませんが、私は”あるべき姿でいること”を『強い』と定義しています。

その前提から、今日も人間についての話をさせていただこうと思います。

今日もみんなで大会という一つのものを作り上げています。そういった”みんなで行うこと”の中で最もやってはいけないことは何でしょう？

数ある中で最も初歩的なことが『私語』です。

今日の大会は高校生の宇野弦汰指導員に大会の実行委員長を務めていただいています。

高校生という立場でこれだけのことを取り仕切るのは非常に大変なことだと思います。しかしこういった中で人を動かす難しさであったり、人のせいには出来ない状況で自分がどうすべきかを考える経験になればと任せています。

誰が実行委員長を務めているかという事はさておき、取り仕切る立場の者にとって、自分勝手な行動をする者は、大変邪魔なものです。

しかし、それはこちら側（運営側）の話であって、私語をする方たちには関係のないことです。運営側は嫌な思いをするかもしれませんが、私語をしている方たちには何の害もありません。

運営側としては予めそういう方がいるという事を理解して対処すれば良いだけのことで、私語をする方たちには関係のないことです。

では私語をする側の方にとって、本当に害がないのかというと、そうではないという事を今から話していきます。

私語をするという事はどういうことかというのと、”相手（みんな）のことより自分のことを優先する”ということです。

ここで生きる上での大前提を説明しますと、世界にいる人間があなた一人だったとしたらどうですか？食べ物はあるとしましょう。テレビなどもあるとしましょう。しかし何をし

ますか？そこに生きる意味など無いと思います。自分以外の人がいて初めて人生に意味が生まれます。

その上で相手の事よりも自分の事を優先して上手くいくのでしょうか？

皆さんは今日朝起きてから鏡で自分の姿を見ましたか？私も1週間前に美容師にお任せで切っていただいた髪形が気に入らないので今日はよく見てきました。

形のあるものは鏡を見れば見る事が出来ます。しかし人間の心はそうはいきません。

ではどうすれば自分の心を見る事が出来るのでしょうか？それは相手を見ることです。自分を映しだすものはいつでも相手（自分以外の人）です。

自分を優先する習慣のある人は、自分の姿が見えなくなるという事です。

皆さんは顔に何がゴミなどが付いていたら取るでしょう。頭の上に鳩が乗っていたらどうしますか？ズボンのチャックが開いていたら恥ずかしいので閉めるでしょう。

これは心にも同じことが言えます。気付けば人は直す事が出来るのです。しかし気付かない人はそのまま生きていくことになります。

そしてそれは大なり小なり人間である以上、誰にでもあります。完全に自分の姿を見る事は出来ません。

だからこそ、人と関わる時は出来るだけ相手の事を、周りの人の事を考える習慣を持った方が良いでしょうというお話です。

(社)日本 ITF テコンドー協会
理事長 岸玄二

2020年2月23日 第18回愛知県テコンドー選手権大会にて